

別記様式(第5条関係)

令和 8年 3月 31日

南国市議会議長

西本 良平 様

議員名 松下 直樹



令和7年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和7年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 松下 直樹

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	42,037	行政視察経費
研 修 費	41,780	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	83,817	

3 残 額 36,183 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第 1 号様式

令和 7 年度 政務活動費 出納簿

議員名 松下 直樹
(円)

整理 番号	月日	項目	摘 要	収入金額	支出金額	差引残高
	4. 11		政務活動費	120, 000		120, 000
1	4. 14	2	研修会参加（4. 21～4. 22 大津市）旅費、 受講経費		41, 780	78, 220
2	11. 12	1	行政視察（11. 11～11. 12 丹波市役所等） 旅費		42, 037	36, 183

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 松下 直樹

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	2. 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年 月 日	令和7年 4月21日(月) ~ 4月 22日(火)				
相手方・ 調査先等	研修会「令和7年度 第1回市町村長等・議会議員特別セミナー」 (主催：全国市町村国際文化研修所)				
場 所	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)				
活動内容 等(目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	4月21日 【講義】 偽・誤情報問題：その現状と求められる対策 【講師】 山口真一氏 【講義】 持続可能な地方財政のあり方 【講師】 原邦彰氏 4月22日 【講義】 おにぎりから世界へ 【講師】 中村祐介氏 【講義】 地域歴史・文化資源を生かしたまちづくり しあわせ実感都市瀬戸内市の取り組み 【講師】 瀬戸内市長 武久 顕也氏 ○この度の研修で原氏の講義を受け、持続的な自治体運営をする中で、人口減少問題の解決を目指す視点と、人口は必ず減少する、その覚悟で AI や DX の推進と共に自治体単体では解決できない課題が多くなるとの指摘もうけ、ますます国との連携が必要だと感じた。本市でも市単体での限界を感じている。原氏も人口減の中での生産性向上と、DX の全国での標準化などを提案されていた。今までとおりのやり方は通用しない環境になっていると指摘されている。本市においても発想の転換が必要な時に来ていると感じ、柔軟に学び対応していかなければならないと痛感する。 また、中村氏の講義では、おにぎりという、日本に元々ある伝統を世界レベルまで昇華した事の感銘を受ける。『既知の未知』の言葉に感銘をうけ、知っている物で新たな知を知る。この発想の転換は衝撃を受けた。本市においても、普段にあるあたりまえのすぎてその価値に気づけていない事も多数あるのではと、考えさせられる。その既知の魅力が本市の魅力向上につながる様に、県外、また海外から見た南国市はどのような魅力を感じているのかをリサーチし、政策に活かしていく事が大切だと感じた。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	高知龍馬空港～ 大阪(伊丹)	航空機	17,240 (往路) 17,240 (復路)	34,480	
	日 当				
	その他				
	研修参加経費	研修費、宿泊代、食費		7,300	
	合 計			41,780	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 松下 直樹

整理 番号	2	項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 7年11月11日(火)～11月12日(水)				
相手方・ 調査先等	行政視察「食のまちづくり条例、食育推進事業の取組」(福井県小浜市) 「ミライプロジェクト、市民との意見交換会について」(兵庫県丹波市)				
場 所	御食国若狭おばま食文化館、丹波市役所				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感 等を記入)	●行程(11/11) 高知龍馬空港＝伊丹空港＝御食国若狭おばま食文化館＝ルートイン京都舞鶴-西舞鶴駅-泊 (11/12) ルートイン京都舞鶴＝丹波市役所＝道の駅おばあちゃんの里丹波＝伊丹空港＝高知龍馬空港 ●面談者：小浜市役所 経営企画部 御食国ブランド戦略課 中田典子 丹波市議会 議長 谷水雄一、議会運営委員長 西本嘉宏、議員 家田優樹 ●調査内容等 本市でも食育を重要な施策として取組んでいるが、以前に比べ停滞していると考え、その点について先進的な取り組みを行っている福井県小浜市への視察を行った。まず、御食国若狭おばま食文化館で御食国ブランド戦略課 中田典子氏から食のまちづくり条例、食育推進事業の取組について説明を受け、各議員より質疑応答する。中田典子氏からこの取り組みの予算や関係機関との連携の方法などを伺ったが、出来るだけ少額の予算で運営し、主婦やキッズサポーターの登録をしている。「キッズキッチン」では、幼児の料理教室や地元の魚の食べ方の指導を行い、「小浜ジャーニー」では、大人の食育教育を大手企業と取組む事で、実績を着実に積み重ねており、本市も地元食材を使うだけでなく、食べ方や作り方を子供たちに学ぶシステム作りや企業との連携を取り入れていくべきである。 また議会改革として、市民との対話や子ども議会は全国的にも推進されており、先進的な取り組みを行っている丹波市への視察を行った。まず、丹波市役所で谷水雄一議長他2名からミライプロジェクトの取組について説明を受け、各議員より質疑応答する。丹波市は大学生と高校生と市議会議員の懇談会の提案を福知山公立大学からあり、現在は、高校生が本会議場で提案し、それを議員が質問していく斬新な方法で開催している。それを大学生がサポートしており、本市でも取り入れるべきであると思った。 今回の視察では、本市でも取り入れるべき点があると感じた所です。各自治体の創意工夫を学び、本市の向上に取り組んでいく決意です				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	龍馬空港 ～伊丹空港	飛行機		22,200	
	11/11 中国豊中 ～舞鶴西	高速道路代	6,420÷7	917	
	11/12 舞鶴西 ～中国池田				
	宿泊費	宿泊代 9,200＋夕食代 1,200		10,400	
	日 当	2,000×2		4,000	
	レンタカー代	24,640÷7		3,520	
	その他	視察料 7,000÷7		1,000	
	合	計		42,037	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。